

# 東京の空のいま・むかし

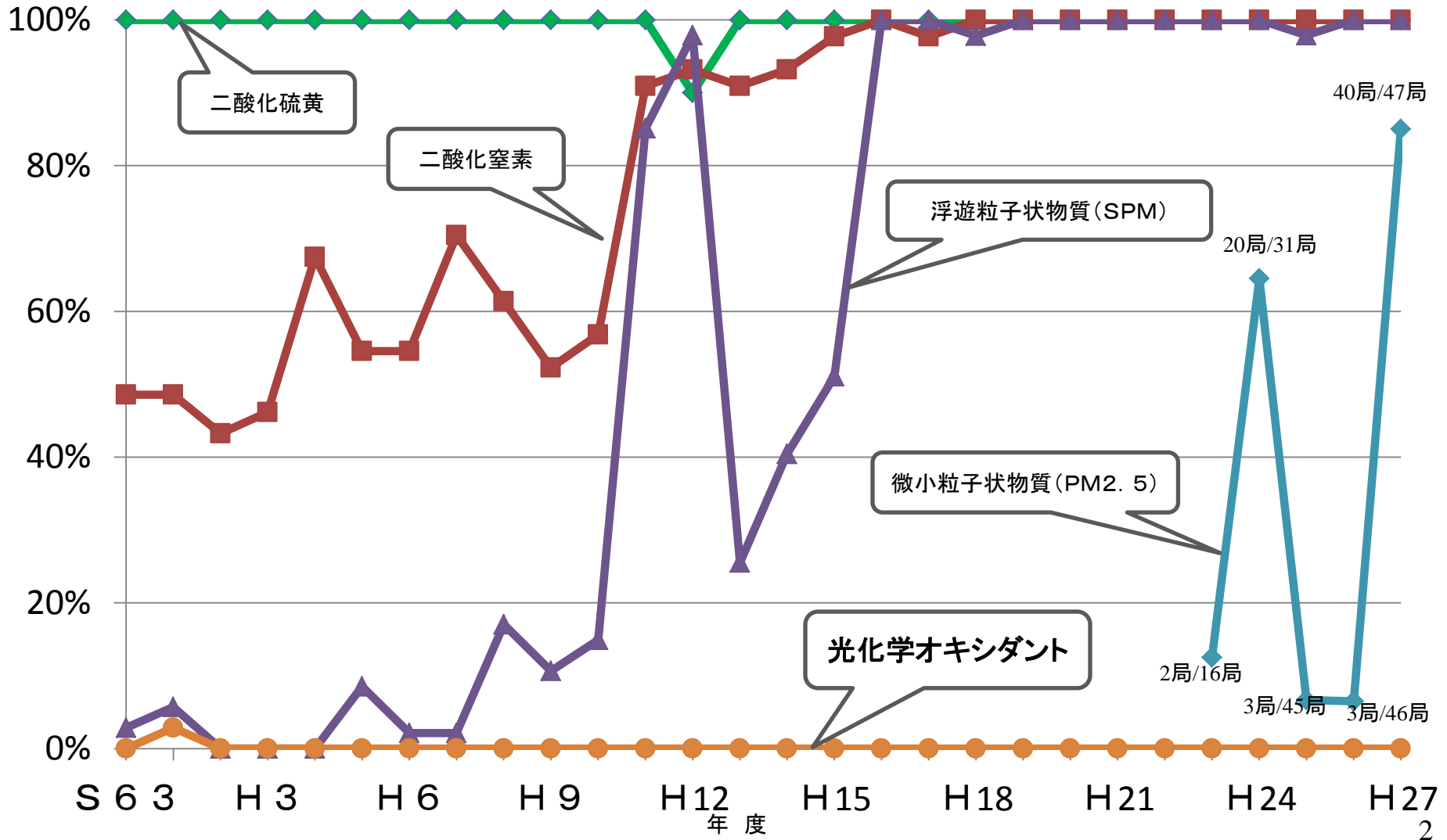
～なぜVOC削減が必要なのか～



東京都 環境局 環境改善部

化学物質対策課長 浦 崎 祥 子

# 東京都の大気環境基準達成率（一般局）



# 問題は、光化学オキシダント！ (オゾン (O<sub>3</sub>) を主成分とする有害物質)



## 《健康への影響》

- 目や喉への刺激
- 呼吸が苦しい
- めまい、頭痛

## 《農作物・植物への被害》

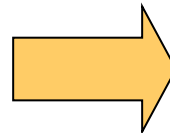
- 葉の変色
- 収量の減少

## 都庁舎からの眺望

通常時



2012年 8月 1日 13時 都庁舎 (31階) f = 46mm



光化学スモッグ  
発生時



2012年 7月 26日 13時 都庁舎 (31階) f = 46mm

# 昭和40年代の光化学スモッグ



環境局HPを拡大  
[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/basic/publications/scenery/air/film\\_02.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/basic/publications/scenery/air/film_02.html)

## 昭和49(1974)年夏 大田区または世田谷区あたり

昭和45(1970)年7月、校庭で運動中の高校生が、目がチカチカする、喉が痛い、胸が苦しいという症状を訴え、治療をうけるという事件が発生しました。全国最初の光化学スモッグによる被害です。その後、子供たちを中心に、被害は各地に広がりました。上の写真は、七夕の短冊でしょうか。「こうかがくすもつぐをなくしてほしい」など、子供たちの切実な想いが伝わってきます。下の写真には、症状が重く、酸素吸入をうける子供が写っています。写真が撮影された頃、光化学スモッグは、子供たちの健康に、重大な影響を与えていました。

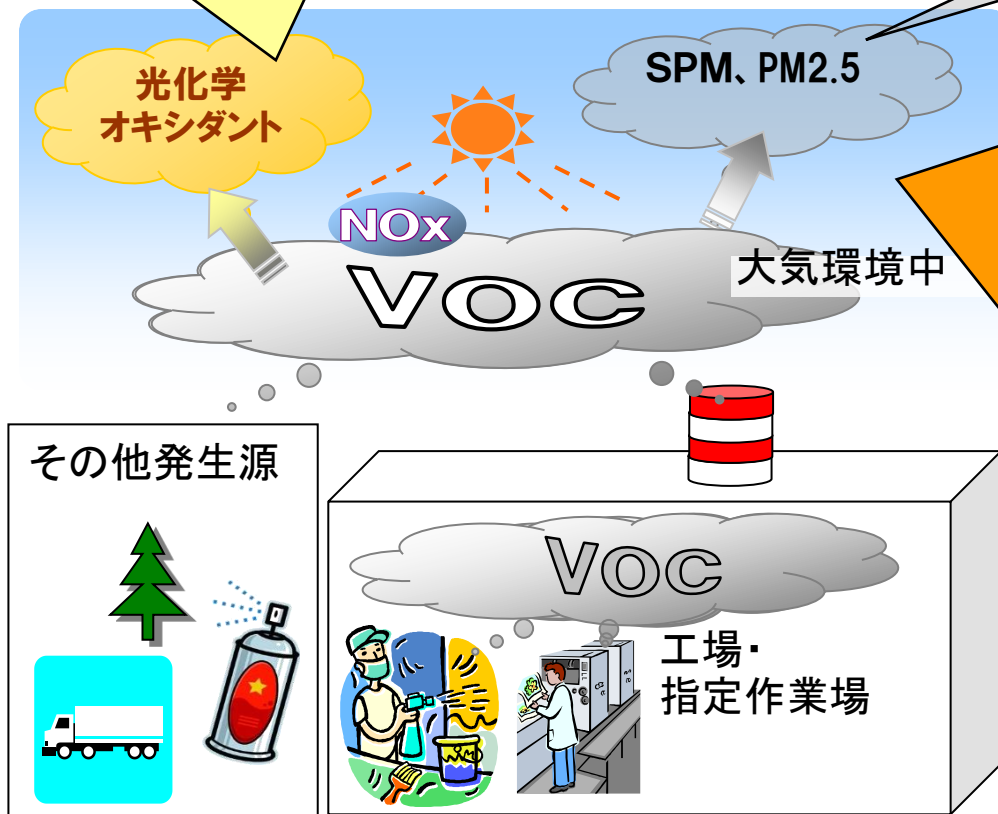
なお、光化学スモッグ警報は昭和51年以降1日も発令されていません。



# VOCは光化学オキシダント生成の一因

太陽の紫外線を受けNO<sub>x</sub>とともに  
光化学オキシダントを生成

SPM、PM2.5の  
原因物質とも

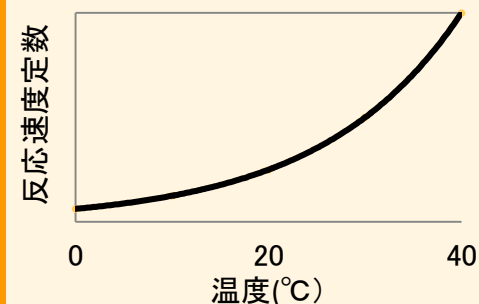


## 日射量 気温がポイント

気温、日射量高

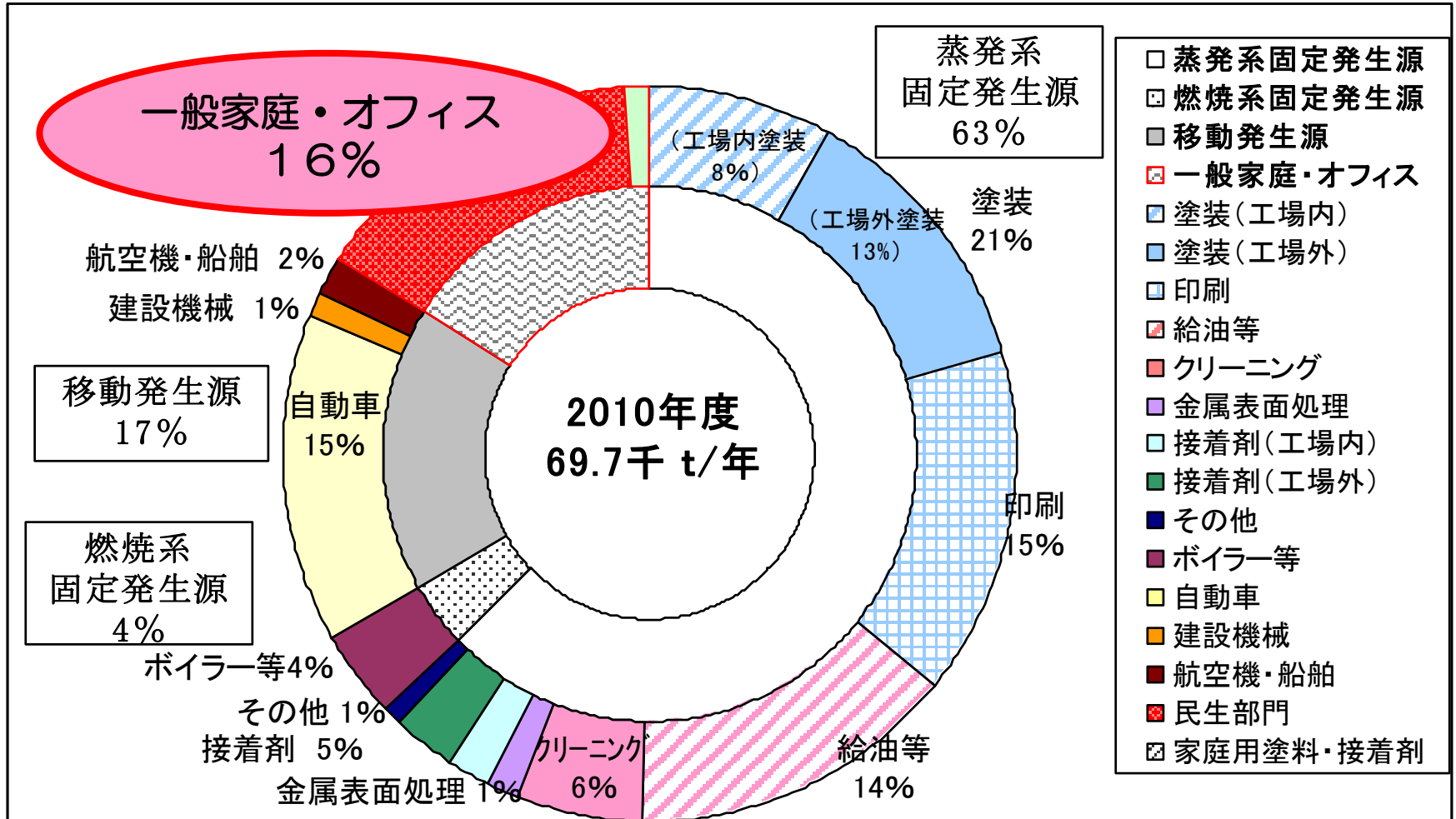
→反応起こりやすい

模式図(反応速度定数と  
温度との関係)



# 都内のVOC排出量推計

(移動発生源・民生部門を含む 推計は5年ごと)



# 東京都低VOC製品普及対策協議会

目的：関係の深い業界等の関係者を集め、VOC排出削減に関する現在の考え方や取組状況について情報交換・協議を行う

開催日：平成28年12月1日（木）

参加者：九州大学工学研究院 主幹教授 馬奈木 俊介

株式会社日経BP 日経エコロジー副編集長 馬場 未希

グリーン購入ネットワーク 事務局長 深津 学治

主婦連合会 会長 有田 芳子

（東京都生活協同組合連合会）生活協同組合パルシステム東京

環境推進室長 齊藤 剛隆

（一社）日本エアゾール協会 技術顧問 太田 浩

専務理事 齋藤 英明

（一社）日本塗料工業会 技術部長 鈴木 讓

経済産業省産業技術環境局環境指導室

VOCを減らすために、  
ワタシたちにできることは??

ご清聴ありがとうございました♪